

令和八年度 岡山学芸館高等学校 選抜一期入試【二月二十二日】 問題（国語）

1

科学記者の「わたし（ボーちゃん）」は、ゲノム研究者になった幼馴染ケイナと取材先の米国で二十年ぶりに再会した。二人は、絶滅したドーダー鳥と孤独鳥が自分たちのつながりを表しているように感じていた。次は、再会した日に二人が、ケイナの暮らす寮の部屋で語り合う場面である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

受験番号
算用数字

注意① 解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい。
注意② 字数が指定されている設問では、「コ」や「ク」も一まず使いなさい。

そこから先、わたしたちは小学四年生の頃の話題に終始した。いつか百々谷でもそうしたように、肩を並べて同じ方を向いて、とりとめなく話し続けた。

結局、わたしたちの間にある共通の体験は、それにつきた。ぎゅうつと②凝縮された半年間は、それぞれの中で結晶化して、消えることはない。今さら確認しあつた。

夜も更けた頃、いや、明け方が近くなつた頃、最後までむせび鳴いていたシタールの音も途切れた。今や自治寮は完全に寝静まつていた。その頃になつて、やっとわたしたちは、同じ話題を口にしたのだつた。

「そういえば、ロンドン自然史博物館が――」とわたしが言い、「日本にドーダー鳥が来ていたんだつてね。あれはすごいことだよ」とケイナちゃんがうなずいた。

ふたりとも同時に笑い、すぐに真顔に戻つた。③わたしたちは、遠く離れていても、やはり互いにカタワレなのだ。

「ドーダー鳥はどこにいったのかな」

「本当にね」

「それ、探すよ。記事にできると思う。日本に来ていたなら、リョコウバトよりずっと、自分たちに近いんだから！」

わたしは、絶滅動物にまつわる記事を書きながらも、これまで、ドーダー鳥や孤独鳥をテーマにすることは避けてきたのかもしれない。日本との関係が薄いというのほもちろんのだけれど、ケイナちゃんとの大切な記憶の塊に傷をつけることになりはしないかと、意識せずとも恐れていた。でも、そんなことは、④心配する必要ないと分かつた。わたしたちはやはり分かちがたく結びついている。ドーダー鳥が、むこうのほうからこつちに歩いてきた今、力を入れるべきときが来たのだ。

「つまり、これつて結局、自分探し？」と言つてわたしは笑つた。なぜつて、わたしはドーダー鳥なのだから。

「うん、たしかに自分探しだね。いや、それぞれ自分たちを探しているんだろうね。ボーちゃんが、日本のドーダー鳥を追いかけるなら、こつちも早く今の研究を完成させて、次は孤独鳥の試料を扱えるようにがんばつてみるよ。教授も関心があると思うから、きつと実現させる！」

「すごい！ がんばろう！」
そう言いながら、わたしは、自分自身がまったく至らないと痛感した。

百々谷でケイナちゃんと同じ時間を過ごし、父の資料まで受け継いだのに、大切なものを長い間、腹の底に沈めすぎていた。その間、ケイナちゃんは、動物の声に耳を傾け、獣医の学位と資格を得て、今は脱絶滅の科学の最先端にいる。ケイナちゃんに比べたら、⑤わたしはまだスタートラインに立つたばかりだ。

「日本のドーダー鳥だけじゃだめだね」とわたしは自分に言い聞かせるみたいに言った。

⑥ドーダー鳥の過去と現在と未来、全部知りたい。絶滅した動物の未来を見たい、というのは変な話だけど、今、本気でそう思ったよ。帰国したら、まず、リョコウバトの過去と現在と未来の話を書く。新聞記事だから、きゆうくつだけど、書く。それで、日本のドーダー鳥を追う。日本でのことだけではなくて、ドーダー鳥がどんなものだったのか、過去も現在も未来も知る。ドーダー鳥の祖先がどんなだったとか、ヨーロッパでどんなふうに分け入れられたとか、野生のドーダー鳥がいたモーリシャス島や、孤独鳥がいたロドリゲス島も全部、行く。日本のドーダー鳥を追いかけるといつても、そこまでやらないといけないと思うんだ。アメリカで絶滅動物の取材をしてたら、全ゲノム解説や脱絶滅の話ばかり気になつてしまふけど、それだつてほんの一部のテーマなんだよ」

わたしが深夜の不思議なテンションで熱弁すると、ケイナちゃんは大きな声を出して笑つた。ケイナちゃんがたまにしか見せない、大きな笑顔だつた。

「それこそ、『ドーダーをめぐる堂々めぐり』になつてしまふかも」

「覚悟の上だよ。ちゃんと見てて」

興奮してしばらく話し続けると、ケイナちゃんの返事が、次第に眠たげなあくび混じりになり、やがて途絶えた。ケイナちゃんも「わたしの肩に顔をあずけて寝息を立てていた。わたしも、⑦目が重いことに気づいて、そのまま眠気を受け入れた。」

うつらうつらする間、わたしはすっかり夜の百々谷にいる雰囲気⑧に⑨浸しこまれた。それは、久しぶりに抱く、心底、満ち足りた感覚だつた。

（注）百々谷：二人には房総半島の百々谷で過ごした期間がある。

シタール：弦楽器。どこからかその音が聞こえていた。

ロンドン自然史博物館が：ロンドン自然史博物館のある研究員が、ドーダー鳥が日本に送られ長崎まで到着していた歴史資料を見つけ、論文を書いた。

リョコウバト：絶滅した、かつて北米大陸で最も個体数の多かった鳥類。

わたしはドーダー鳥：幼少期から「わたし」はドーダー鳥、ケイナは孤独鳥に自分を重ね合わせていた。

父の資料：「わたし」の父親は絶滅生物について研究していた。

モーリシャス島：アフリカ大陸の東、インド洋の南西部に位置する島。

ロドリゲス島：モーリシャス北東にある離島。

① ————の部分②・③の漢字の読みを書きなさい。

② 「④わたしたちは……やはり互いにカタワレなのだ」とあるが、このような非常に親密な関係を表すことばとして最も適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 異越同舟 イ 鳥合之衆 ウ 水魚之交 エ 同床異夢

③ 「⑤心配する必要ないと分かつた」とあるが、「わたし」が心配していたことについて説明した次の文の□に入れるのに適当なことばを、「記事」ということばを使って、三十字以内で書きなさい。

ドーダー鳥や孤独鳥を□ことになりはしないかということ。

④ 「⑥わたしはまだスタートラインに立つたばかりだ」とあるが、このときの「わたし」の気持ちを、「最先端」ということばを使って、四十字以内で書きなさい。

⑤ 「⑦ドーダー鳥の過去と現在と未来、全部知りたい」とあるが、具体的に何をしようとしているかを説明したものとして最も適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア リョコウバトの研究から始めて、ドーダー鳥の生態や歴史を日本国内で調査し、最終的に脱絶滅技術の開発に携わる。

イ リョコウバトの記事を書いた後、ドーダー鳥や孤独鳥に関連する島々に取材に行き、多角的にドーダー鳥を追究する。

ウ ケイナと協力してドーダー鳥と孤独鳥の全ゲノム解説を行い、両方の鳥を同時によみがえらせる企画を立ち上げる。

エ 百々谷での思い出を手がかりに、ドーダー鳥と孤独鳥が絶滅した原因を解明し、現代の環境問題への警鐘を鳴らす。

⑥ この文章の表現の特徴について説明したものとして最も適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「肩を並べて同じ方を向いて」という表現は、横並びにすわつて話す二人の様子を示すとともに、ここまで二人が同じ方向に向かつて共に歩いてきたことを示唆している。

イ 「ドーダー鳥が、むこうのほうからこつちに歩いてきた今」という表現は、絶滅した鳥が生存しているように描くことで、二人の研究が非現実的であることを印象づけている。

ウ 「腹の底に沈めすぎていた」という表現は、「わたし」が長い間自分の本当の気持ちを隠し続けてきたことを示し、それが今になって重荷になっていることを暗示している。

エ 「深夜の不思議なテンション」という表現は、普段とは違う興奮状態にある「わたし」の様子を指しており、大きな目標を掲げることになつたきっかけを示している。

2

次は、文芸評論家の阿部公彦が「読解力」について書いた文章である。筆者は、「読解力がない」とされる原因の5項目め⑤に、「読み手が文脈をとりちがえ、ニュアンスを読み損ねたり、意味の方向を読み取れていない。どこまで『裏』を読むかで読み手が判断を誤り、過剰に意図を読んだり、逆に全然意図が読めていなかったりする」を挙げている。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

⑤で問題にしたのは、「ニュアンスや効果の読み取り、メタレベルの視点の獲得、文脈の読み取り」などです。おそらくこれまでの国語でもっとも重視されてきたのはこの部分でしょうし、これからもうでしょう。また、そうあるべきだと私は考えます。

④国語の授業で文学作品を扱うと、すぐ人物の「思い」とか「感情」の話になると考える人がいます。これはかなりの誤解です。小説など虚構作品と接することで一番鍛えられるのは、文脈を推し量る能力です。登場人物の心境の想像などはあくまでその一部です。言うまでもなく、虚構作品はどんな短篇であっても、それぞれが完結した一つの作品世界を形成しています。だから、新しい作品と出会うたびに私たちはその世界のルールを読み取り、了解し、かつ読書に適用する必要がある。この作業は時に面倒にも感じられますし、ここがうまくいかない、その後の展開にもなかなか入っていかなくて読んでいてもフラストレーションがたまる。しかし、まったく新しい世界のルールとの出会いは、豊かな可能性を秘めています。うまく行った時には、今まで知らなかった物の見方と出会ったりもできる。

私たちはこうした作業を通して、そもそも意味が生まれるためには文脈を知ることが必要だということを知り、文脈を切り替えるという作業にも意識的になれます。ルールを切り替えることで全く新しい世界を導き入れるという行為は、人間の知性の⑥コンカンをなすものです。自分が慣れ親しんだ文脈でしか生きていない人は、異なる環境に適応することができませんし、異なる環境から来た人にも上手に対応できない。

文脈把握の重要性を示すごく簡単な例としてあげられるのはアイロニーや否定の読み取りです。たとえば、ごく簡単な例でいえば「今日は暑いなあ」という言葉があったとします。ごく単純な発言ですが、それがどんな「文脈」でなされたかによって、その意味するところはまったく変わってきます。たとえば、以下のような状況が考えられます。

【文脈①】もつとも当たり前の文脈設定は、前日に比べてかなり気温が高くなった夏の日に一歩外に出た時、思わず口にしたひと言、というものです。このセリフだけを見たら、誰もがこうした場面を思い浮かべるでしょう。

【文脈②】しかし、ちよつと想像を広げてみましょう。文脈①は気温が高いことに対する単なる感想でしたが、同じような状況で別の「含み」が出てくることがあります。たとえば、その暑い日、奥さんと一緒に、庭の壊れた物置の片付けをしようとしていた夫、あるいは久しぶりに子どもとテニスをしようとしていたお父さん、といった状況を考えてみましょう。

この場合は、「今日は暑いから、片付けは明日にしようか」という含みがあるかもしれません。あるいは「今日は暑いからテニスはやなくてほかのことをしよう。水泳とか」ということも、状況次第ではありうる。こうなるとこの発言は単なる感想ではなく、相手との交渉の一部ということになってきます。

【文脈③】さらに想像を広げてみましょう。たとえば閉め切った部屋で空気が悪くなってきたちよつと窓を開けてほしいとか、冷房が弱すぎるから強くしてほしいとする。そんな時、「開けて」とか「下げて」というのは直接的すぎるから、やや婉曲にこうした発言をするということもあるでしょう。この場合も相手との交渉という側面があるけれど、②に比べるとあくまで暗示なので、それを聞いた相手も「あ、そう？」などとは言わずに、黙って窓を開けたり、いつの間にか温度調節をしてくれたりするかもしれません。

【文脈④】さらにもう一つ。これが実は言葉というもののもつともおもしろい働きなのですが、人間にはこれに非常に敏感な人と、驚くほどセンサーが働かない人とがいます。アイロニーです。アイロニーでは、表向き言っていることと、実際に意味していることが正反対になることがある。一番端的なのが、ものすごく寒い日にわざと「今日は暑いなあ」と言ってみるという場合。これがたとえば

伊達の薄着をしている人を前にした発言だったり、逆に過度な厚着をしている人の前だったりすると洒落が効いてくる。(中略)
今、文脈②④で示した暗示やアイロニーは、言葉の使い方としてはけつして高度なものでもなければ、いたずらに「文学的」だったり「芸術的」だったりするものでもありません。小学生ですらこうした用法に対応できる。また、カジュアルでリラックスした雰囲気だけ使われるものでもない。シリアスなビジネスの場面や、⑥ムズカしい治療を受けている生か死かというような状況でも、あるいは政治的な駆け引きの最中にも利用されうる、つまり、こうした用法を身につけさせずして、何が言語教育かと言えらるようなものです。

出典 阿部公彦『読解力』とは何か

——「読めていない」の真相をさぐる』
(注)メタレベルの視点：ものを一段上から見、俯瞰で理解しようとする見方。

アイロニー：実際とは逆の言葉を述べることで本音や意図を伝える方法。

伊達：粋な様子。

① ——— の部分⑥・⑦を漢字に直して楷書で書きなさい。

② ——— ア～エの「れる」「られる」のうちで意味が異なるものはどれですか。一つ答えなさい。

③ 「^ア国語の授業で文学作品を扱う」とあるが、これに対する筆者の説明として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 文学作品の授業では、人物の思いや感情を考えることが最も重要で、それによって文脈を推し測る能力が鍛えられる。
イ どんな短篇であっても、その作品世界のルールを読み取るのは常に面倒で、フラストレーションがたまるものである。

ウ 文学作品は一つの完結した世界を形成しているため、その世界のルールを理解することで新しい物の見方と出会える。
エ 文学作品の授業では、登場人物の心境を想像することで、文脈の切り替えという作業を意識的に行えるようになる。

④ 次は【文脈①】～【文脈④】をまとめたものである。【X】、【Y】に入れるのに適当なことを、【X】は九字、【Y】は十一字で文章から抜き出して書きなさい。二つのXには同じことが入ります。

【文脈①】	状況に対する単なる感想。
【文脈②】	「含み」があり、【X】である。
【文脈③】	【X】でもあるが、あくまで暗示。
【文脈④】	アイロニー。言葉の【Y】を示す。

⑤ この文章を通しての筆者の考えを説明した次の文の【 】に入れるのに適当なことをばを、「小学生」「言語教育」ということばを使って、四十字以内で書きなさい。

⑥ 本文の内容を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 今まで、ニュアンスや効果の読み取り、メタレベルの視点の獲得などの要素は軽視されてきたが、今後は重要になる。

イ 文脈を切り替える作業ができると、違う環境に適応したり、別の環境から来た人に対応したりができるようになる。

ウ 頼みごとは直接的な言い方より婉曲的に伝えるほうがよいが、言い方が悪いとかえって相手を怒らせることがある。

エ アイロニーに敏感かどうかは生まれ持った感性によるもので、その感性を持ち合わせた人が芸術家になれる。

3

次の文章は、作家田辺聖子が『古今和歌集』について書いた文章である。①～④に答えなさい。

受験番号
算用数字

紀貫之は漢文学にすぐれ、詔勅の起草や禁中の書籍を扱う仕事をしていたが、しだいに歌人として知られるようになり、ついに醍醐天皇により『古今和歌集』の撰者に選ばれます。紀貫之以外の撰者は紀友則、凡河内躬恒、壬生忠岑。この四人の撰者の歌は、のちに藤原定家が「百人一首」に選んでいます。

紀友則の歌。

久方のひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ

紀貫之の歌。

人はいさ心も知らずふるさと花ぞ昔の香にほひける

「あなたの心はわかりませんが、確かに花だけは昔と変わらず咲いていますね」

初瀬の長谷寺へ参るたびに泊まっていた家があったのですが、しばらく来訪がとだえて、久しぶりに訪れたときに、その家の人が宿は昔のままにありますのに、と言ったのに対し、そこに咲いていた梅を折って詠んだ歌です。あなたの心こそわからないというわけです。その家の人も、花は昔と同じように咲いているけれども、植えた人の心はわからないと歌で返したそうです。

（中略）

醍醐天皇は、延喜の治とその治世をうたわれた天皇です。大変な文化人で、初めての勅撰集の編纂を紀貫之たちに命じました。そうして生まれたのが『古今和歌集』です。

『古今和歌集』の成立は延喜五（九〇五）年とされますが、編纂を命じたのがこの年だという説もあります。九世紀後半に生まれた貫之はまだ三十代、新進気鋭の歌人です。貫之は批評家としても優れていて、小野小町初め有名な歌人の批評をしているのですが、なかなかの射ています。彼は揚々たる自尊心を込めて『古今和歌集』の序文を書き、完成した喜びを込めています。

「仮名序」の最後のところを少し紹介しましょう。

〈それ、まぐらことは、春の花にほひすくなくして、空しき名のみ秋の夜の長きをかこてれば、かつは人の耳に恐り、かつは歌の心に恥ぢ思へど、たなびく雲のたちぬ、鳴く鹿の起きふしは、貫之らがこの世に同じく生まれ、この事の時にあへるをなむ、喜びぬる。それまで日本の教養人は、漢字、漢文、漢学が全ての発想のもとでした。漢文でものを考え、漢字で文章を記していました。ようやくこのころから大和言葉を使って歌を詠むようになり、我が国の言葉で綴られた歌集をつくるうという気運が生まれたのです。

〈人麿なくなりたれど、歌のこととどまれるかな。歌聖といわれた人麻呂は亡くなったけれども、歌はいまだに残つて我々を慰め励ましてくれる。〈たとひ、時移り事去り、樂しび哀しびゆきかふとも、この歌の文字あるをや。〉。なんと高い心持ちでしょう。彼らの視線は遠く高いところを見ている。文字があるのだから歌が消え去ることはない。過去、現在、未来にわたつて歌は大変大きな力を持つという信念があります。〈青柳の糸絶えず、松の葉のちり失せずして、まさきのかづら長く伝はり、鳥のあと久しくとどまれば〉、鳥の跡というのは文字のことです。〈歌のさまを知り、ことの心を得たらん人は、大空の月を見るがごとくに、いにしへを仰ぎて今を恋ひざらめかも〉。この本が散逸せず伝わるなら、後世の人たちは延喜の帝の御代を恋しがるにちがいない。『古今和歌集』が伝わる限り、日本の歌の心、そして和歌は滅びない。自信に充ち満ちた宣言です。

「仮名序」の冒頭は、こう始められます。

〈和歌は、人の心を種として、万の言の葉とぞなれりける。世の中にある人、事・業しげきものなれば、心に思ふ事を、見るもの聞くものにつけて、言ひいだせるなり。花に鳴く鶯、水に住むかはづの声

を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。力をも

入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ、男女のなかをもやはらげ、猛き武士の心をもなぐさむるは、歌なり。歌のすぐれたものは天地をも動かす。男女の仲、猛き武人の心も動かす。この強い自信があったからこそ、『古今集』は現在まで残ったのです。 出典 田辺聖子『田辺聖子の古典まんたら（上）』

（注）詔勅：天皇の公式な命令や布告を記した文書。 禁中：宮中。

撰者：詩歌集などを編纂・選定する人。

初瀬：奈良県にある地名。

延喜の治：醍醐天皇の治世（八九七―九三〇）。政治が安定し文化が栄えた。

勅撰集：天皇の命令によつて編纂された詩歌集。

仮名序：古今和歌集の二つの序文のうち、ひらがなで書かれているもの。

まぐらことは：未詳。序文全体を指すと解釈されていることが多い。

人麿：飛鳥時代の歌人、柿本人麻呂。

まさきのかづら：つる性の植物。「長く」にかかる枕詞。

① 「人はいさ心も知らずふるさと花ぞ昔の香にほひける」について説明した文として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 故郷の花の美しさを懐かしみながら、昔の恋人への思いを表現して詠んだ歌である。

イ 昔よく泊まっていた宿で、主人の好意的な言葉に対して感謝の気持ちを込めて詠んだ歌である。

ウ 昨年の梅の季節以降、来訪がとだえたことに対して、相手の心への不信を詠んだ歌である。

エ 宿に咲く花の変わらない美しさと、宿の主人の心のわからなさを対比して詠んだ歌である。

② 『古今和歌集』の成立背景について説明した次の文の[X]、[Y]に入れるのに適当なことを、[X]は十七字、[Y]は十二字で文章中から抜き出して書きなさい。

『古今和歌集』以前の文化は[X]であったが、十世紀初めごろになると[Y]ようになり、そこで日本独自の歌集をつくるうという流れが生まれた。

③ 本文の内容を説明したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 醍醐天皇は大変な教養人であり、自分の和歌を世に広めるために『古今和歌集』の編纂を命じた。

イ 三十代という若さで『古今和歌集』の撰者に選ばれた貫之は、歌人を批評をする批評家の面もあった。

ウ 紀友則、凡河内躬恒、壬生忠岑も優秀な歌人であったが、人麻呂に肩を並べられるのは貫之だけだった。

エ 貫之は、いにしへの歌人が『古今和歌集』を見れば、大空の月のように仰ぎ恋い焦がれるだろうと述べた。

④ 中学三年生のあおいさんは、この文章を読んで次のような感想文を書いた。Ⅰ、Ⅱに入れるのに適当なことを、Ⅰは七字で文章中から抜き出し、Ⅱは十字以上、十五字以内で書きなさい。

『古今和歌集』の序文の一つ「仮名序」冒頭で、貫之は、歌は力を入れずともⅠことができ、男女の仲を和らげたり、武士の心をなぐさめたりすることができると宣言しています。また、「仮名序」の最後のところでは、撰者の自分たち一同がⅡ、「古今和歌集」の編纂にたずさわれたことをとても喜んでいました。

この文章を読んで、「仮名序」には、こんなに強い気持ちで込められていたと知りました。「仮名序」をじっくり読んでみたいです。

4 四人の中学生が、過疎化対策をテーマとするグループ学習で、【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】をもとに話し合いをした。次の【四人の中学生の話し合い】を読んで、①～④に答えなさい。

【四人の中学生の話し合い】

光星 今日、過疎化について話し合うよ。資料をもとに現況を
理解し、対策を考えていこう。

小雪 過疎地とは、人が大きく減ったことで地域の活力が低下
してしまったところのことで、過疎地と認定されるには、人
口減少率や財政力などに基準があるよ。

風花 【資料Ⅰ】を見て。過疎地域の年齢階層別人口構成比の推
移をまとめたものだよ。これを見ると、**X**ことがわかる
よ。そこから考えると、日本全体で問題となっている少子高
齢化が、過疎地域ではより深刻であると言えそうだね。

結月 本場にそうだね。総務省の資料によると、過疎地の面積は、
日本全体の六割を超えるのに、そこに住む人は、日本の人口
の一割にも満たないらしいよ。

小雪 住む人が減ると、病院や学校、商店や公共交通機関なども
成り立たなくなるし、暮らしがどんどん不便になるよね。

光星 そうだね。では次に【資料Ⅱ】を見てくれる？ 産業別の
就業人口やその割合の変動状況を示したものだよ。50年間
で過疎地域の就業人口が53・4%にまで減っているんだ。

結月 戦後の高度経済成長期に若者が大勢、都会に出て行った
ことで過疎化が急激に進んだんだよね。

小雪 農業・林業・漁業の第一次産業ではなく、安定した収入の
ある第三次産業を選ぶ人が増えたんだね。

光星 今の過疎地域では収入を観光に頼る地域も多いそうだよ。
働く人が高齢化した第一次産業を支える取り組みや、繰
り返し訪れたくなる観光の工夫があるといいのかな。

光星 そうだね。では、【資料Ⅲ】を見ながら対策を考えていこ
う。過疎地の対策には、地域への移住や、外部にいながら継
続的に関わってくれる人を増やすことが**不可欠**なんだ。

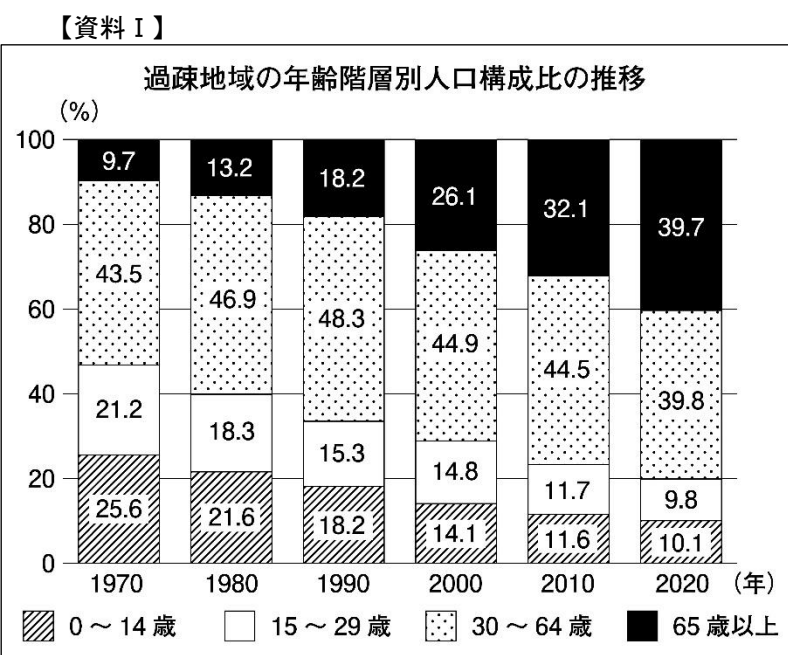
風花 「特色ある教育」とあるけど、例えばどういうこと？

結月 ニュースで見たんだけど、都会にはない豊かな自然や地
域の人々とのつながりの中で教育が好評らしいよ。少人
数だからこそもまれる異学年の交流とか。

光星 へえ、いいね。このサテライトオフィスというのは何？

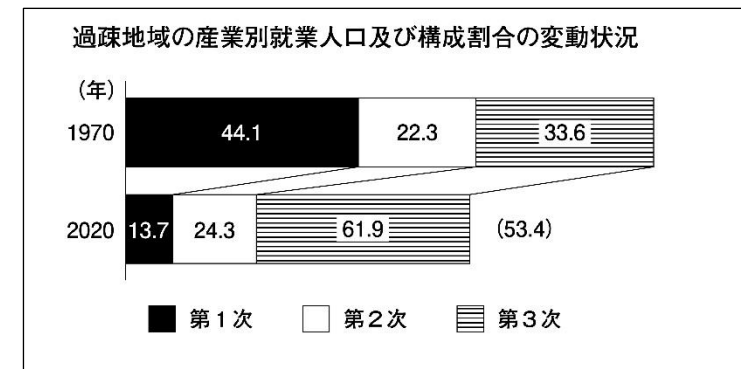
風花 会社の本部や支店とは異なる場所に設けられた小さな職
場のことだよ。企業にとって、自宅の近くに職場があれば働
けるのに、という優秀な人材を確保できるメリットがあるよ。
加工品というのは、みかんからジュース、牛乳からチーズ
を作るようなことだよ。

結月 なるほど。【資料Ⅲ】の中だったら僕は、**Y**をしたら
いいと思うな。なぜなら、**Z**



【資料Ⅰ】 【資料Ⅱ】 総務省「令和5年度版 過疎対策の現況」により作成。各項目を四捨五入しているため合計数と齟齬があることがある。【資料Ⅰ】の2020年は年齢不詳が0.5%いる。

【資料Ⅱ】



() は1970年の就業人口を100とした時の指数。(第2次：第1次産業の原材料を加工する産業。第3次：第1次、第2次以外の産業。金融業、サービス業など)

【資料Ⅲ】

新たな関係を作る取り組み

- ア 農林水産業の体験ツアー
- イ 特色ある教育の実践
- ウ 企業のサテライトオフィスの誘致
- エ 地元農畜産物を使った加工品の製造販売

① 「不可欠」とあるが、「不可欠」と熟語の構成が同じなのは、
ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア 非課税 イ 無作法
ウ 不自由 エ 未知数

② 風花さんの意見が論理的なものとなるために、**X**に入れ
るのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答え
なさい。

ア 65歳以上の割合は、2010年の時点で三割を超え、2020
年までの十年間でさらに10ポイント以上増加した
イ 29歳以下の割合は、1970年と2020年を比べると半分
以下になっているが、65歳以上の割合は四倍近くになっている
ウ 0～14歳の割合は、50年の間減少し続けているが、30～64
歳の割合は2000年までは増加し続けている
エ 30歳以上の割合は、1970年には全体の半数以下であつ
たが、2020年には全体の八割強にまで達している

③ 話し合いにおける四人の発言の特徴について説明したもの
として適当なのは、ア～エのうちではどれですか。当てはまるもの
をすべて答えなさい。

ア 光星は、資料をみんなに見せながら、資料の内容や注目すべ
き点、基本となる考え方を伝えている。
イ 小雪は、他の人の発言を受け、派生する事実を述べて話と同
意したうえで話し合いを次の段階へと進めている。
ウ 風花は、資料から読み取れることと自分の考えとを分けて発言
し、聞き手が混同しないようにしている。

エ 結月は、他教科の学習を通じて得た知識や、自身が見聞きし
た情報などを伝えることでグループの理解を深めている。
オ 風花は光星が提示した資料に対して、他の人の発言を聞き
たうえで、それらをまとめる意見を述べている。

④ 結月さんの発言の**Y**、**Z**に入れるのに適当な内容を、
Yはあなたが関心のある項目を【資料Ⅲ】ア～エのうちから一つ
選んで答え、Zは条件に従って六十字以上八十字以内で書きな
さい。

- 条件
- 1 二文に分けて書き、一文目に、Yの取り組みを選ん
だ理由を書くこと。
 - 2 二文目に、Yで選んだ取り組みがより効果を発揮
するには何をすればよいかを具体的に書くこと。